かわ授業の種

全校種	タブレット端末の活用	全学年

タブレット端末で身近な素材を活用

教材準備に時間がかからない！

【簡単に投影し、提示できる】

タブレット端末（カメラ機能）で、教科書や資料集など、投影したいものを撮影するだけで簡単に、スクリーンに投影することができる。

無線通信対応していないプロジェクターでも、ケーブルをつなげるだけで投影できる。

タブレット端末で投影することでできること

写真の拡大提示

映したものに書き込みをする

（効　果）

- 視覚による理解がしやすい。
- 興味・関心を喚起することができる。
- 話題の焦点化ができる。
- 投影したものを基に説明をしやすい。

そのほか、タブレット端末の特徴はここ！

・机間指導中に使える。（無線通信利用時）
・やりとりしながら、拡大や書き込みができる。
・撮影したものを、次の授業でも使える。

全校種	タブレット端末の活用	全学年

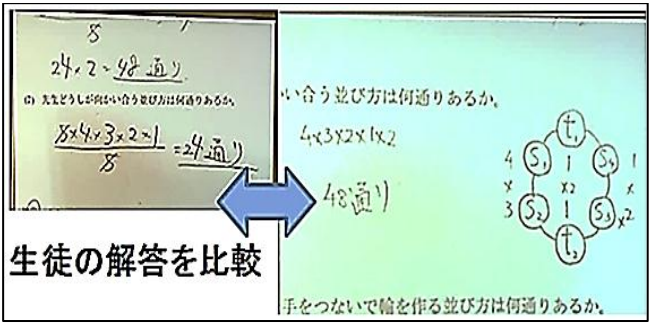
タブレット端末で身近な素材を活用

活用例

【児童・生徒のノートを示す】

タブレット端末（カメラ機能）で、児童・生徒のノートを撮影し投影する。

○問題の解き方などを比較する。



（高等学校・数学科の例）

○児童・生徒が、投影したものを基に発表する。

⇒可視化することで、分かりやすい。

⇒視線が集まる。

使用目的がはっきりしていれば、短時間の使用でも効果的である。

ノート整理の意識向上にもつながる。